

ほっとニュース

発行：特定医療法人一成会 木村病院／企画広報室

一
成
会
理
念

みんなの元気のパートナー



あけましておめでとうございます

特定医療法人社団一成会 理事長・木村病院院長 木村 厚

みなさん、明けましておめでとうございます。

地球環境問題に、多くの人の関心が集まるようになりました。温暖化による災害や気象異変、生態系の変化による種の絶滅、あるいは海面上昇の問題など、影響は広い範囲に及んでいます。



これまで、繁栄、発展、成長などの言葉は、基本的にいい意味で使われていましたが、話はそう単純ではなくなってきました。まず、「地球環境との調和」ということを念頭に置く必要があります。日本も、世界第二の経済大国として、地球環境問題に大きな責任を負っています。それは、生活者としての私たち一人ひとりが、地球環境問題に対して大きな責任を負っている、ということです。

一成会も、昨年、理念の見直しを行ない、新たに環境問題への取組みを盛り込みました。

私たちが日々実践している医療とは、医学という学問を実際の社会に適用することです。医療の究極の目的は、皆さんが健康であるためのお手伝いです。そんな思いをこめ、これまでキャッチフレーズとしてきた「みんなの元気のパートナー」を、新しい理念にしました。

今年も、地域のための医療を通じ、すべての人が、安心して、幸福に生きて行かれる世界を作るために、また新たな挑戦をするつもりです。ご指導ご鞭撻をお願い致します。



最後になりましたが、今年一年の、皆様のご健康とご多幸をお祈り致します。

特定医療法人一成会は、2007年8月、従来理念を見直し、

新理念「みんなの元気のパートナー」を制定しました。
骨格は大きく変わったわけではありません。
以下、内容と変更の主旨をご説明いたします。

1) 理念「みんなの元気のパートナー」について

「みんな」とは、患者さんであり、地域の方々であり、また、職員を示しています。私たちは、この地域の医療従事者の立場で、みなさんの「元気」に役立つことを常に考え、実行し続けようと考えています。私たちは、木村病院を中心に、訪問看護ステーションみどり・わかば、デイサービスセンターかえでを持ち、大学病院や診療所、介護施設とネットワークを作っています。また、地域の皆さんのために歯を食いしばって24時間救急医療にも取り組んでいます。これまでも、地域の皆さんと「みんなの元気を考える会」を開き、近くの医療・介護施設と、「地域医療連携の会」を開催してきました。検診や「健康づくり教室」などの予防医療にもさらに力を入れていくつもりです。「パートナー」という言葉にも、ご注目下さい。パートナー(partner)という言葉が辞書で見ると、「組合員」「社員」「仲間」「共同者」「配偶者」「(ダンスなどの)パートナー」と出ています。どちらにせよ、上下関係ではない信頼関係で、それぞれが役割を受け持つ、ということからきています。私たち一成会は、医療においても介護においても、患者さん、利用者さんと、上下関係ではない人間関係の中で、また、よりよい医療を実現するために、それぞれがそれぞれの役割を果たす、ということを目指したいと考えています。

新理念「みんなの元気のパートナー」は、私たち一成会職員は、患者さん、地域の方々と一緒に「元気」のパートナーであり続けるという、意思表示です。

2) 基本方針について

- ・地域のニーズに応え、地域に選ばれる医療福祉機関となる
 - ① 救急医療・急性期医療に対応する
 - ② リハビリテーション及び亜急性期医療・長期療養に対応する
 - ③ 在宅医療に対応する
 - ④ 検診事業、健康づくり教室等の予防医療に対応する
 - ⑤ 医療機関相互の診療情報提供の充実を図る
- ・患者さんを尊重し、説明と同意を重視する医療・福祉機関となる
 - ① 患者さん・家族の意思を尊重する
 - ② 患者さん・家族にわかりやすい言葉で説明する
 - ③ 診療情報を開示する
 - ④ 患者さんの個人情報が出ないように慎重に取り扱う
- ・親切で丁寧で安心できる医療・福祉機関となる
 - ① 医療はサービス業であることを認識し患者さんに接する
 - ② 医療事故を起こさないよう万全を期す
 - ③ 診療・看護・介護・事務の学術性と信頼性を高める

・組織的で効率的な医療・福祉機関となる

- ① 業務改善に組織を挙げて取り組む
- ② チーム医療を重視する
- ③ 組織の中で役割を認識し、職務を全うする
- ④ 収益性の意識を持ち、医療を提供する

・明るく働き甲斐のある医療・福祉機関となる

- ① お互いの立場、意見を尊重しあう
- ② 職員の努力と成果を公正に評価する
- ③ 夢と希望を実現するよう努力する

・地球環境に配慮する医療・福祉機関となる

- ① 地球資源が有限であることを認識する
- ② 自らが消費していることを認識する
- ③ 地球環境を保護するために身近なことから取り組む

今回、「地球環境に配慮する医療・福祉機関となる」という基本方針を追加しましたので(他は、以前と変わりありません)、その部分についてののみ、ご説明いたします。

地球資源は、エネルギー・資源利用のために枯渇しつつあり、そのエネルギー消費のために地球温暖化は気象に影響を与え、さらには動植物の生態系に大きな変化をもたらし、多くの種が絶滅すると言われていています。農作物への影響は、私たちの食料問題に直結していますが、生態系は微妙なバランスの上に成り立っているものですから、その変化が、私たちの生活にどのような変化をもたらすのか、今の段階では、はっきりとわからないことが多いのです。今、地球に生きる全ての人々がこの現実を直視し、これから生まれ生活していく子孫に地球資源と私たちが生存できる環境を残すことを考え、実行しなければならぬ時がきています。特に、先進国や中国・インドなどの新しい経済大国の産業や消費の影響は全体の大きな割合を占めるといわれています。私たちの、産業だけでなく、一人一人の日常のライフスタイルが、地球環境に大きな影響力を持っていることを知り、この問題に対する責任を自覚する必要があります。

医療は、感染予防のため、安全のために非常に多くの資源を使わざるを得ません。しかし、医療も例外ではなく、地球環境のことを念頭に置き、無駄を省き、できることを実行していかなければなりません。

まず、電気をまめに消す、一枚多く着ることで暖房温度を下げる、冷房温度の設定を高くする等、身近なことで自分が実行できることから取り組みます。

私たち一成会職員は、以上の理念と基本方針に基づき、地域の方々の「元気のパートナー」であり続けます。



花粉症の治療は早目が効果的です



今年も花粉が飛散する季節になりました。昨年の猛暑の影響で、今年の花粉の飛散量は例年以上と予想されています。

今年の傾向を知り、早めの対策をとることで、いやな季節を乗り越え、気持ちのいい春を迎えてください。

当院では花粉症の内服薬、点眼薬、点鼻薬など処方しています。内服薬等は早めに内服していただくと、症状はかなり違います。

症状はもちろんですが、仕事内容等でもその人にあったお薬の処方が必要になると考えております。相談しながら治療を考えていきましょう。ひどくなる前に当院にお気軽に御相談ください。